

# 清風

瀬尾弘吉先生より贈られた「窓下有清風」の書より

山木靖雄  
後援会  
だより

## スポーツ王国再建の鍵は、 子供の頃からオールマイティーな体力づくり

財団法人 広島県体育協会 副会長  
財団法人 日本体育協会 理事  
国民体育大会委員長

河野 徳男氏



アジア大会開催まで、いよいよ一年あまりとなり、準備も大詰め段階を迎えています。今回は、体協におじゃまして、河野副会長にスポーツ振興についてお話をうかがいました。

山木 アジア大会の準備については、施設などハード面は順調に進んでいるようですね。選手の育成、強化についてはどうでしょう。

河野 そうですね。こちら、まずまずといったところででしょうか。日

本選手団に、広島県出身の選手が多く入ることは、アジア大会を成功させる上で大切なことですからね。読みとしては、かなりいけるんじゃないかと思っています。

山木 陸上競技あたりで、広島県出身の選手にメダルを獲ってほしいですね。

河野 ええ、あのビッグアーチのスタジアムで、一人でも広島県の選手が表彰されると、盛り上がり方も随分違うと思います。ダイイチの麓選

手など、期待できるのではないのでしょうか。三村さんといういい指導者にも恵まれていますし、その他、西条農高出身の稲垣君なども、がんばってくればと思います。

山木 アジア大会の後には、国体と、広島県は大きなスポーツイベントが続きますね。

河野 国体では、やはり広島県の優勝が目標ですから、2年前くらいから選手の強化を本格化させていきます。昨年の国体でも11位と、成果も着実にあらわれてきています。最近の若者は、目的意識を持つとどんどんやるんですよ。スポーツイベントを持つてくることは、選手の強化という面でも大きな効果がありますね。

山木 先程、指導者のお話が出ましたが、やはり、いい指導者の存在も選手の育成には不可欠ということでしょうか。

河野 そうです。いい素質を見つけて、特性を引き出し、育てる指導者をもっともつと必要です。小学校から中学校、また義務教育から高校教育への連携プレーの問題もあります。

山木 学校の現場では、陸上専門の指導者がある学校に広いグラウンドがないなど、適正配置がされていないということも報告されています。

河野 そうですね。なかなか一朝一夕には解決されない問題ですが、じっくりと取り組んでいくべきでしょう。体協でも、加盟競技団体の間で研修会や懇親会を開くなど、人間関係づくりから始めています。

山木 広島県は、スポーツ王国の再建をめざしていますが…。

河野 いちばん大切なのは、遊びの中のスポーツを通じて、幼稚園の頃からオールマイティーな体力づくりをすることではないでしょうか。今は、Jリーグのインパクトも強い、いいチャンスですよ。サッカー人気が、他のスポーツへの関心も高めてくれますからね。

山木 今日はお忙しいところ、貴重なお話を頂きましてどうもありがとうございます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

